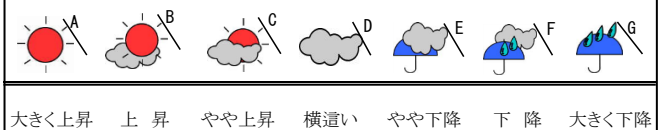


葛飾区の 景況

令和6年10～12月期

回答先 合計 769 社
 製造業 169 社 卸売業 102 社
 小売業 72 社 サービス業 152 社
 建設業 137 社 不動産業 119 社
 ※不明 18 社
 調査方法 郵送及びWEBアンケート調査
 調査機関 (株) 東京商工リサーチ

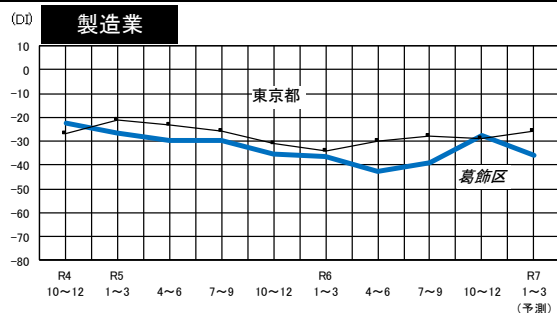
景気予報



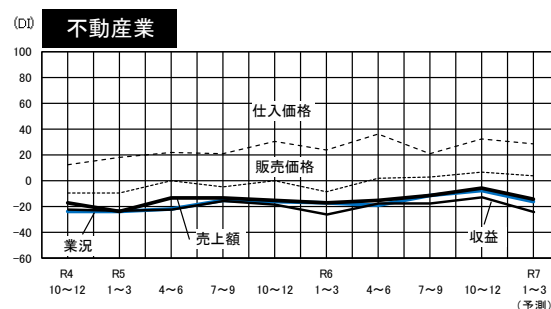
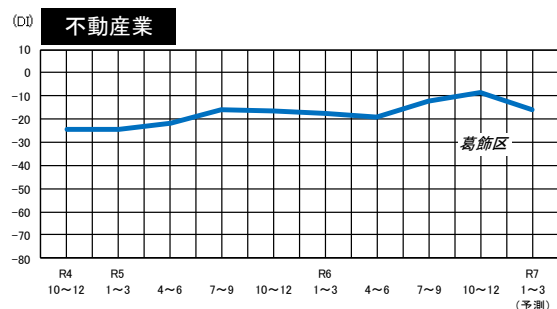
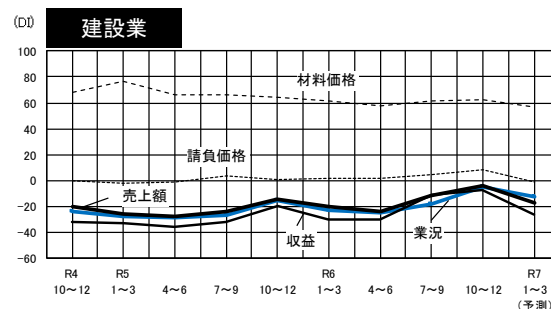
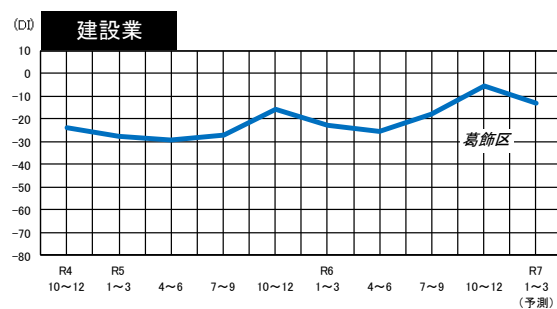
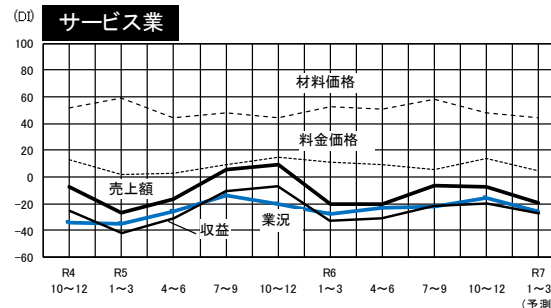
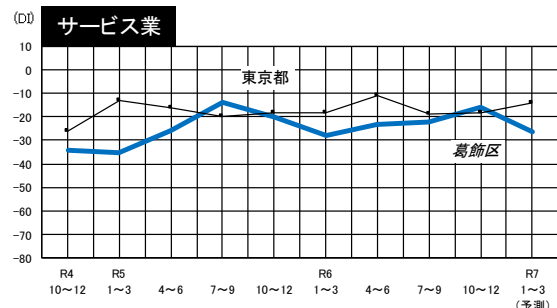
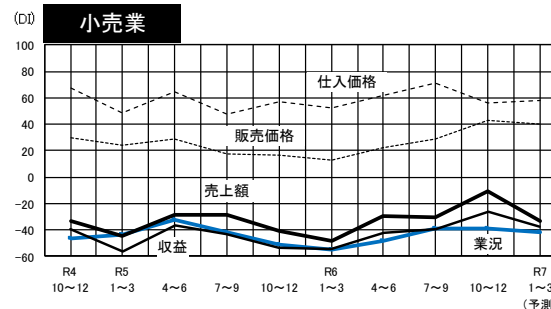
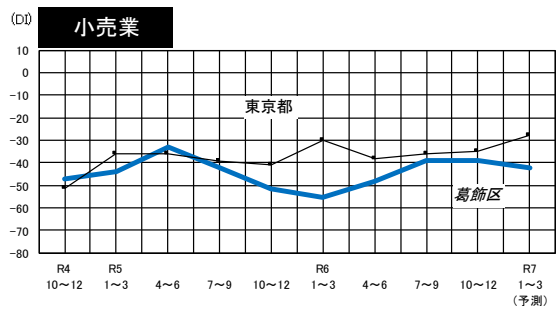
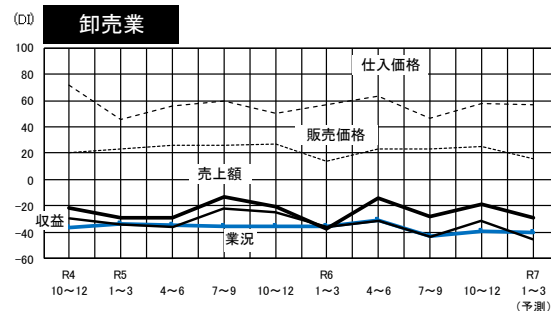
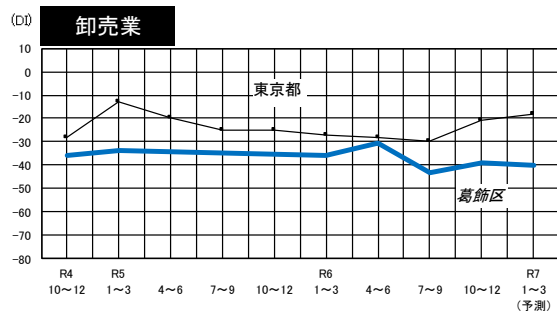
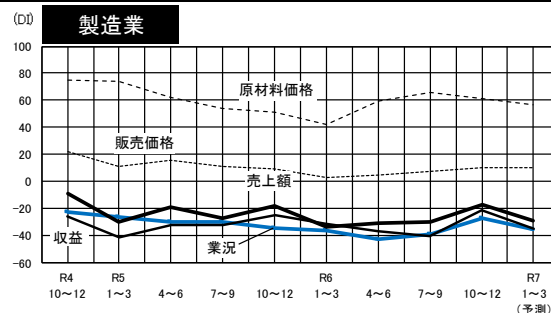
これは、令和6年12月下旬に調べた区内中小企業の景気動向と、これから先3ヶ月間（令和7年1月～3月期）の予想をまとめたものです。

全 体	今 期		業況は大きく厳しさが和らいだ。売上額、収益は大きく減少幅が縮小した。販売価格はやや上昇傾向が強まり、仕入価格は前期並となった。資金繰りは前期並となった。
	来 期		来期の業況は大きく低調感が強まる見込み。売上額、収益は大きく減少幅が拡大すると予想されている。
製 造 業	今 期		業況は大きく厳しさが和らいだ。売上額、収益は大きく減少幅が縮小した。販売価格はやや上昇傾向が強まり、原材料価格はやや上昇傾向が弱まった。資金繰りは大きく窮屈感が緩和した。
	来 期		来期の業況は大きく低調感が強まる見込み。売上額、収益は大きく減少幅が拡大すると予想されている。
卸 売 業	今 期		業況はやや厳しさが和らいだ。売上額、収益は大きく減少幅が縮小した。販売価格はやや上昇傾向が強まり、仕入価格は大きく上昇傾向が強まった。資金繰りは前期並となった。
	来 期		来期の業況は今期同様で推移する見込み。売上額、収益は大きく減少幅が拡大すると予想されている。
小 売 業	今 期		業況は前期並となった。売上額、収益は大きく減少幅が縮小した。販売価格は大きく上昇傾向が強まり、仕入価格は大きく上昇傾向が弱まった。資金繰りはやや窮屈感が強まった。
	来 期		来期の業況はやや低調感が強まる見込み。売上額は極端に減少幅が拡大し、収益は大きく減少幅が拡大すると予想されている。
サ ー ビ ス 業	今 期		業況は大きく厳しさが和らいだ。売上額、収益は前期並となった。料金価格は大きく上昇傾向が強まり、材料価格は大きく上昇傾向が弱まった。資金繰りは大きく窮屈感が強まった。
	来 期		来期の業況は大きく低調感が強まる見込み。売上額、収益は大きく減少幅が拡大すると予想されている。
建 設 業	今 期		業況は大きく厳しさが和らいだ。売上額、施工高は大きく減少幅が縮小し、収益はやや減少幅が縮小した。請負価格はやや上昇傾向が強まり、材料価格は前期並となった。資金繰りはやや窮屈感が緩和した。
	来 期		来期の業況は大きく低調感が強まる見込み。売上額、収益は大きく減少幅が拡大すると予想されている。
不 動 産 業	今 期		業況はやや厳しさが和らいだ。売上額、収益はやや減少幅が縮小した。販売価格はやや上昇傾向が強まり、仕入価格は大きく上昇傾向が強まった。資金繰りはやや窮屈感が強まった。
	来 期		来期の業況は大きく低調感が強まる見込み。売上額、収益は大きく減少幅が拡大すると予想されている。

葛飾区と東京都の業況の動き（実績） と来期の予測



業況と売上額、収益等の動き（実績） と来期の予測



※東京都の景況調査におきましては建設業・不動産業の調査は実施されていないので、全都の建設業・不動産業の業況は表示していません。

葛飾区 業種別 経営上の問題点

	製造業		卸売業		小売業		サービス業		建設業		不動産業	
第1位	売上の停滞・減少	47 %	売上の停滞・減少	53 %	売上の停滞・減少	44 %	売上の停滞・減少	40 %	人手不足	56 %	利幅の縮小	23 %
第2位	原材料価格・材料価格の上昇	46 %	原材料価格・材料価格の上昇	33 %	原材料価格・材料価格の上昇	34 %	人手不足	36 %	原材料価格・材料価格の上昇	40 %	売上の停滞・減少 原材料価格・材料価格の上昇	22 %
第3位	人件費の増加	30 %	取引先の減少	28 %	利幅の縮小	26 %	人件費の増加	32 %	人件費の増加	29 %	人件費以外の経費増加	17 %
第4位	人手不足 利幅の縮小	25 %	利幅の縮小	27 %	人件費の増加	24 %	原材料価格・材料価格の上昇	26 %	売上の停滞・減少	27 %	同業者間の競争の激化	14 %
第5位	取引先の減少	18 %	仕入先からの値上げ要請	23 %	人手不足	21 %	利幅の縮小	22 %	利幅の縮小	19 %	仕入先からの値上げ要請 工場・店舗の狭小・老朽化	7 %

葛飾区 業種別 重点経営施策

	製造業		卸売業		小売業		サービス業		建設業		不動産業	
第1位	経費を節減する	36 %	販路を広げる	48 %	品揃えを充実させる	35 %	経費を節減する	45 %	人材を確保する	53 %	経費を節減する	37 %
第2位	販路を広げる	34 %	経費を節減する	40 %	経費を節減する	34 %	人材を確保する	33 %	経費を節減する	41 %	不動産の有効活用を図る	31 %
第3位	人材を確保する	27 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	28 %	販路を広げる	28 %	販路を広げる	26 %	技術力を強化する	26 %	販路を広げる	15 %
第4位	技術力を強化する	21 %	品揃えを充実させる	15 %	売れ筋商品を取扱う	21 %	技術力を強化する	15 %	販路を広げる	24 %	情報力、宣伝・広報を強化する 店舗・設備を改装する	11 %
第5位	新製品・技術を開発する	17 %	情報力、宣伝・広報を強化する	14 %	人材を確保する	19 %	情報力、宣伝・広報を強化する	15 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	18 %	仕入先・提携先を開拓・選別する	10 %

東京都・葛飾区の企業倒産動向

1. 「東京都」の企業倒産 倒産件数と負債総額

	前年同期	前期	当期		
	2023年10～12月	2024年7～9月	2024年10～12月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
件数(単位:件)	451	442	439	-0.7%	-2.7%
負債額(単位:百万円)	250,107	89,951	288,513	220.7%	15.4%

※集計対象は、負債額1,000万円以上の倒産

2. 「葛飾区」の企業倒産 倒産件数と負債総額

	前年同期	前期	当期		
	2023年10～12月	2024年7～9月	2024年10～12月	前期比(伸び率・%)	前年同期比(伸び率・%)
件数(単位:件)	11	13	6	-53.8%	-45.5%
負債額(単位:百万円)	500	5,815	185	-96.8%	-63.0%

※集計対象は、負債額1,000万円以上の倒産

東京都の景況

令和6年12月の都内中小企業の業況DI(業況が「良い」とした企業割合ー「悪い」とした企業割合)は、前期から3ポイント増の▲25とやや改善した。今後3ヶ月間の業況見通しDIでは、今期比4ポイント増の▲21とやや改善する見通しとなっている。

業種別の結果は次のとおり。

製造業 業況DI(▲29)は1ポイント減と前期並となった。販売価格DI(販売単価が「上昇」とした企業割合ー「低下」とした企業割合)(2)は3ポイント増と上昇に転じ、仕入価格DI(仕入単価が「上昇」とした企業割合ー「低下」とした企業割合)(21)は3ポイント減とやや下降した。今後3ヶ月間の業況見通しDI(▲26)は3ポイント増とやや改善すると見込まれている。

卸売業 業況DI(▲21)は9ポイント増と大幅に改善した。販売価格DI(14)は3ポイント増とやや上昇し、仕入価格DI(24)は8ポイント増と大幅に上昇した。今後3ヶ月間の業況見通しDI(▲18)は3ポイント増とやや改善すると見込まれている。

小売業 業況DI(▲35)は1ポイント増と前期並となった。販売価格DI(16)は7ポイント増、仕入価格DI(28)は8ポイント増とともに大幅に上昇した。今後3ヶ月間の業況見通しDI(▲28)は7ポイント増と大幅に改善すると見込まれている。

サービス業 業況DI(▲18)は1ポイント増と前期並、販売価格DI(▲2)は4ポイント減と上昇から下降に転じた。今後3ヶ月間の業況見通しDI(▲14)は4ポイント増とやや改善すると見込まれている。

特別調査「人材定着について」

問１．人材定着についてどう思われていますか（〇は１つのみ）

（単位：％）

	良好で問題ない	離職が少ない （入社３年以内離職率１０％未満等）	離職がやや多い （入社３年以内離職率１０％～３０％等）	離職が多い（入社３年以内離職率３０％超等）	採用活動をしていない	その他
全 体（７３６件）	32.1	17.4	7.2	2.9	36.0	4.5
製 造 業（１６１件）	36.6	21.7	9.3	1.2	28.0	3.1
卸 売 業（９９件）	39.4	13.1	4.0	1.0	36.4	6.1
小 売 業（６６件）	40.9	9.1	3.0	6.1	33.3	7.6
サービス業（１４９件）	27.5	26.2	11.4	3.4	30.9	0.7
建 設 業（１３３件）	21.1	21.8	9.8	6.8	33.8	6.8
不 動 産 業（１１２件）	30.4	2.7	0.9	0.0	60.7	5.4

問２．人材定着（離職を防ぐこと）に関して行っている取組。また実際にされている取組（〇はいくつでも）

（単位：％）

	給与・賞与の定期的な見直し、増額	有給休暇の取得推進	休暇制度の拡充 （時間単位の休暇取得等）	残業時間の削減	完全週休二日制の徹底	福利厚生充実 （社員寮、各種手当等）	社内コミュニケーションの活性化 （定期面談・社内イベント等）	職場環境の改善 （休憩室確保、冷暖房充実等）	特に行っていることはない	その他
全 体（７０５件）	33.9	14.5	5.1	11.1	16.3	10.6	12.2	10.4	48.8	2.1
製 造 業（１５７件）	43.3	20.4	7.6	12.7	25.5	10.2	12.7	19.7	38.9	0.6
卸 売 業（９３件）	36.6	15.1	4.3	15.1	18.3	5.4	15.1	8.6	48.4	1.1
小 売 業（６１件）	29.5	11.5	1.6	9.8	6.6	6.6	9.8	4.9	63.9	4.9
サービス業（１４５件）	34.5	14.5	5.5	11.7	15.9	13.8	13.1	8.3	42.1	3.4
建 設 業（１２７件）	44.9	18.9	6.3	13.4	19.7	18.9	17.3	12.6	33.9	1.6
不 動 産 業（１０７件）	5.6	1.9	2.8	1.9	0.9	3.7	3.7	0.0	85	2.8

問３．人材定着の必要性・効果をどう捉えていますか（〇はいくつでも）

（単位：％）

	採用コストの削減につながる	業務の質・生産性の向上に効果がある	社内の雰囲気・モチベーション向上に重要	顧客満足度の向上につながる	経営の安定性確保に不可欠	今やっている取組にあまり効果を感じない	特に必要性を感じない	その他
全 体（７１３件）	15.1	34.9	25.8	19.6	43.5	1.1	34.1	1.5
製 造 業（１５７件）	17.2	50.3	29.3	21.0	53.5	1.3	26.1	0.6
卸 売 業（９６件）	12.5	29.2	21.9	21.9	43.8	2.1	33.3	1.0
小 売 業（６１件）	14.8	27.9	21.3	23.0	31.1	1.6	37.7	3.3
サービス業（１４６件）	24.0	37.7	28.8	27.4	43.8	0.7	26.7	2.1
建 設 業（１３１件）	16.0	38.2	35.1	16.8	58.8	0.8	20.6	0.8
不 動 産 業（１０６件）	2.8	11.3	11.3	5.7	17.9	0.0	73.6	2.8

問４．人材定着に関して、行政に望む支援はありますか（〇はいくつでも）

（単位：％）

	助成金・補助金の拡充	助成金・補助金の申請手続きの支援	労務管理・就業規則作成等の専門家派遣	事業者の取組事例紹介、取り組んでいる事業者のＰＲ	関連する情報の提供・セミナー開催	特になし	その他
全 体（７０９件）	44.0	21.3	4.7	4.2	6.1	47.2	2.0
製 造 業（１５５件）	47.7	21.9	5.2	3.2	9.0	40.6	1.9
卸 売 業（９８件）	44.9	18.4	2.0	6.1	5.1	50.0	0.0
小 売 業（６２件）	43.5	17.7	1.6	0.0	1.6	48.4	3.2
サービス業（１４４件）	49.3	23.6	5.6	6.3	4.9	45.8	1.4
建 設 業（１２７件）	52.0	29.9	8.7	4.7	7.9	33.9	3.9
不 動 産 業（１０９件）	19.3	9.2	1.8	1.8	5.5	74.3	1.8

葛飾区 産業観光部 産業経済課

TEL：０３（３８３８）５５５４